

三菱ケミカル株式会社発足式 社長 越智 仁 従業員へのメッセージ

三菱ケミカル株式会社

【はじめに】

これまで総力を挙げて体制を検討し、綿密な準備を進めてきたことで、本日「三菱ケミカル」が発足することができた。皆さんとともに改めて、三菱ケミカルの大いなる「夢」と「成長」を誓い合いたい。

世界の社会・経済は今、目覚ましいスピードで変化している。保護主義の台頭、各国のポピュリズムへの傾倒に加え、気候変動、資源やエネルギーの枯渇といったマクロな課題も含めて、先行きの不透明感は増している。一方、IoT、人工知能(AI)によるデジタル・トランスフォーメーションなどの新たな技術がものづくりと融合することで、人・社会・地球の課題解決に役立つ新たなソリューションを提供できる時代である。

【三菱ケミカルが目指すもの】

安全とコンプライアンスを企業活動の重要な基盤とし、中期経営計画「APTSIS 20」に掲げる財務目標を達成するとともに、新技術の確立、地球温暖化対策等を通して KAITEKI 価値(企業価値)を大きく高めていきたい。その目標を達成するためには次の三点が重要となる。

1. 「成長」を自ら生み出す

世界経済が停滞する中、自らの力で成長を作り上げる必要がある。ソリューションを迅速かつグローバルに生み出すため、56あったビジネスユニットを26に再編するとともに、10の事業部門に集約し、関連事業が一体となる体制を整えた。事業の壁を取り払うことで、販売チャネル、顧客ニーズ、市場動向などを即座に共有するとともに、研究開発機能の統合による開発力の強化、リージョナルヘッドクォーターの設置によるグローバルなオペレーション体制の整備、コーポレート機能の統合による業務の高度化を実現し、ターゲットに最適解を提案し続ける。

2. 新技術を活用した新事業、競争力の創出

AI、ロボティクス、バイオ、センシングなど新技術の利活用を進めることで、事業、競争力、マネジメントのあり方を大きく変えられる。個々の事業部が持っていた技術をインテグレートするとともに、三菱ケミカルホールディングスに新設された「先端技術・事業開発室」のもと ICT・AI の積極的な利活用を進め、さらにベンチャー企業の有用な技術を取り込み、これら技術を他社とのオープンイノベーションにより発展させ、新事業、競争力を創出する。

3. 働き方改革

今年度から健康経営を本格的に実践する。健康経営は、最小単位の組織とその個々人とは、「個人と組織の健康」を作り上げる取り組みである。健康経営による働き方改革と職場環境・コミュニケーションの改善とを戦略的に推進し、活性溢れる創造力豊かな人と職場を作り上げる。

【「UP! 20」スタート】

KAITEKI を実現させる中核的な活動として「UP! 20」をスタートする。健康経営による働き方改革を進める中で、業務を効率化し、生産性を向上させ、創造性を高めることを通して、コア営業利益及び ROIC (投下資本利益率)の向上を図る。すべての組織において、2020年度までに「20%生産性向上・資産の効率化」を目指してゆく。

【最後に】

目標を達成するため、私たち全員の「知」と「情熱」が必要である。今日この日をスタートラインとし、皆さんと一体となって、真にグローバルな「THE KAITEKI COMPANY」を作り上げ、持続的発展を続ける三菱ケミカルを生み出していきたい。

以上

本件に関するお問合せ先
(株) 三菱ケミカルホールディングス 広報・IR 室
電話：03-6748-7140